

科目名	行政学 I	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			法律学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Public Administration I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	なかむら いつはる	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	中村 逸春	修得単位	2単位
授業のテーマ	行政学の特質や歴史、また行政の制度的側面を中心に学ぶ。		
到達目標	行政学の特質や歴史について理解すること。また、行政の制度的側面について基礎的知識を習得すること。		
授業概要	本講義では、行政の捉え方や行政学の動向について確認した上で、主に行政の制度的側面について学ぶ。 ※ただし、進捗状況等によっては、授業の内容を一部変更する場合がある。		
授業計画			
第1回	イントロダクション		
第2回	行政とは何か—行政の活動、行政の捉え方		
第3回	行政学の誕生—政治行政分断論、組織管理論、正統派行政学		
第4回	行政学の展開—正統派行政学に対する批判、第二次世界大戦後のアメリカ行政学		
第5回	行政の歴史と特質—小さな政府から大きな政府へ、官僚制化		
第6回	執政制度—執政制度の種類、執政制度の比較		
第7回	行政組織—行政組織と法律、府省体制、組織編制		
第8回	講義の復習と質疑応答		
第9回	公務員制度①—特質と種類		
第10回	公務員制度②—国家公務員制度、地方公務員制度		
第11回	地方自治①—中央地方関係、首長と議会		
第12回	地方自治②—組織		
第13回	行政改革①—内部管理活動、行政組織の改革、公務員制度の改革		
第14回	行政改革②—地方分権改革		
第15回	講義の総括		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	行政学を学ぶにあたっては、まずは新聞などから政治や行政に関する情報を得ることが不可欠であるため、日々目を通すようにすること。(2.0時間程度) また、次回の授業までに前回の授業の復習をしておくこと。(2.0時間程度)		
履修条件 受講のルール	総合科目の「生活と政治 I」(政治学の講義)の単位を取得していることが望ましいが、必ずしも必須ではない。なお、講義中の私語は禁じる(退出を求める場合がある)。		
テキスト	教科書は指定しない。		
参考文献・資料	伊藤正次・出雲明子・手塚洋輔『はじめての行政学』(有斐閣、2016年)、西尾勝『行政学 [新版]』(有斐閣、2001年)、真淵勝『行政学』(有斐閣、2012年)。		
成績評価の方法	小テスト(30%)とレポート(30%)と最終試験(40%)とによって、授業内容の理解度をみて評価する。 ※なお、出席回数規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。		

オフィスアワー	毎週木曜日・金曜日 13:30~15:00 (これ以外の時間帯に面会を求める場合は、メール等で事前に必ず連絡すること)
成績評価基準	平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 平成27年度(2015)以前に入学した学生 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
学生への メッセージ	講義の中で分かりにくかった箇所や質問などがあれば、講義の後に気軽に聞いてください。